

# 研修プランシート

番号	B23	対象	校内・セミナー	時間	80分
目的	・子供の学ぶ姿とそれを支える教師の手立てを関連付けて分析することを通して、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けて明日からできることを考察する研修です。				

- 形態 個人→グループ→全体  
 ※グループの分け方：4人グループを基本としたグループ編成  
 中高の場合は教科を分けて混在させることが望ましい

- 準備物
- 付箋（7.5 cm×5 cm、2色：人数分×10枚くらい）  
 ※サイズは一例
  - 付箋（7.5 cm×10 cm、1色：人数分×2枚くらい）  
 ※サイズは一例
  - 太フェルトペン（グループ数）
  - 模造紙（グループ数）
  - ワークシート等
    - ・Web上からダウンロードした指導案  
<http://www.nhk.or.jp/sougou/dosurukosuru/teacher/002/01.html>
    - ・スライドプリント（添付）
    - ・メモ用紙（添付）

## ●研修前

○協議の際のグループをあらかじめ編成しておく

視聴動画

NHK for School ドスルコスル 第2回 「こうする！商店街を救え」

[http://www.nhk.or.jp/sougou/dosurukosuru/?das\\_id=D0005180269\\_00000](http://www.nhk.or.jp/sougou/dosurukosuru/?das_id=D0005180269_00000)

NHK for School ドスルコスル 第2回 「こうする編 実践解説トーク」

[http://www.nhk.or.jp/sougou/dosurukosuru/teacher/2018\\_001\\_002\\_01\\_shidou.html](http://www.nhk.or.jp/sougou/dosurukosuru/teacher/2018_001_002_01_shidou.html)

## ●研修

流れ	進め方	(○)留意点 (※)補足情報	スライド 番号
1 研修の説明 【全体】（5分）	○目的と流れについて確認し、参加者と研修の見通しを共有する。	○目的は上記「目的」参照 ○流れは左欄「流れ」参照	1 2
2 指導案の把握 【個人】（10分）	○指導案を読むことで、授業の概要を把握することを伝える。	○指導案から読み取れる情報が後の授業分析に生かされるように、以下のことを伝える。 ・総合的な学習の時間における教科横断の視点の重要性 ・単元レベルで内容や時間のまとまりを見通した指導計画作成の重要性	3

		<p>※指導案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷でなく並列の片面印刷の方が一覧性があり演習が行いやすい</li> <li>・指導案はweb上から取得できる</li> </ul>	
<p><b>3 動画視聴と個人分析</b> 【個人】(25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ドスル」動画 10分</li> <li>・個人分析① 5分</li> <li>・「解説」動画 4分</li> <li>・対話 3分</li> <li>・個人分析② 3分</li> </ul>	<p>○「ドスルコスル」の動画を視聴し、そこから読み取れる「子供の学ぶ姿」と「教師の手立て」についてまとめる作業を通して、個人の考えをもつことを伝える。</p>	<p>○動画視聴前に下記のことを伝えることで、視点をもって授業を分析できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点は「子供の学ぶ姿」と「教師の手立て」</li> <li>・「教師の手立て」は予想を踏まえても良い</li> </ul> <p>※使用する動画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5年生</li> <li>・総合的な学習の時間</li> <li>・再生時間10分</li> <li>・NHK作成 (NHKのweb上に上げられている。著作権上に関する注意事項は、下のwebページを参照。<a href="http://www.nhk.or.jp/school/rights/">http://www.nhk.or.jp/school/rights/</a>)</li> <li>・内容 お客さんが減ってしまった商店街を、児童たちの手で盛り上げようとした取組。インタビュー活動等を通して商店街の良さを探り、ポスターを作成することで解決を図っていく。</li> </ul>	4 5
	<p>○「解説トーク」の動画を視聴しその動画に対する感想をグループで共有することで、授業分析の視点を広げ深めることを伝える。また、グループで共有した事項を踏まえて再度授業を分析し直すことで、当初の考えより広がったり深まったりした意見を個人でもつことを伝える。</p>	<p>○視聴前に下記のことを伝えることで、目的を意識して動画を視聴できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を視聴する目的は、自己の授業分析の視点を広げ深めることである。</li> <li>・動画視聴後、新たに気付いたこと等をグループで共有する。</li> </ul> <p>※使用する動画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業者と國學院大學 田村学 教授 が授業動画を視聴しながら解説しているもの</li> <li>・視聴するのは30分のうち3分のみ</li> <li>・NHK作成 (NHKのweb上に上げられている。著作権上に関する注意事項は、下のwebページを参照。<a href="http://www.nhk.or.jp/school/rights/">http://www.nhk.or.jp/school/rights/</a>)</li> </ul>	6 7
<p><b>4 グループ協議</b> 【グループ】(30分) 参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ協議 25分</li> <li>・全体共有 5分</li> </ul>	<p>○グループ協議の進行方法と時間の目安を伝えることで、グループ協議の見通しを共有する。</p>	<p>○グループ協議中は下記の「全体で共有したい考え」が出されているかに視点を置き、適宜助言を行う。</p> <p>○考えがまとまったグループは、必要に応じて考えが広がるように他グループの演習を見学するように促す。ただし、見学して得られた情報は、グループ内で共有を図る。</p>	8

		<p>○発表は、下記の「全体で共有したい考え」を会場全体で共有できるように、発表グループを意図的に指名する。また発表する際は、ポイントのみを端的に発表してもらう。</p> <p>※全体で共有したい考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育てたい<b>資質・能力</b>をイメージして授業改善を行うことの重要性</li> <li>・<b>教科横断</b>で取り組むことの重要性</li> <li>・単元デザインにおける<b>活用・発揮</b>の場の設定の重要性</li> <li>・子供が<b>学びの手応え</b>を得ることの重要性</li> </ul>	
5 振り返り 【全体】（10分）	○各自で「明日からできること」を考えることで、演習で得られたことを実践につなげる意識をもつことを伝える。	○振り返りを発表してもらう際は、上記「全体で共有したい考え」と実践が関連付いているものを意図的に指名する。	9

### ●研修後

自身の授業実践における子供の学びを、主体的・対話的で深い学びの視点から観察するように努めるとともに、自己の手立てと関連づけて分析し、不断の授業改善を行う。

参考資料：模造紙のイメージ

